

## はじめに

教育委員会では、文京区教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京の教育」の実現をめざし、様々な教育施策を展開しております。また、本区の教育の施策全体の方向性を示す「文京区教育委員会教育指針」を策定し、毎年度、推進すべき施策を「主要施策」として定め、着実に取組を進めています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、子どもたちの安心・安全と学びを両立させるため様々な対策を講じました。「文京区版 学校感染症対策ガイドライン」を作成し、感染症対策を徹底するとともに、密を避けながら授業や行事に工夫を凝らすなど、制約がある中でも、学校や園の活動が充実するよう、取り組んでまいりました。

令和3年度は、児童・生徒に1人1台配備したタブレット端末を活用し、Society5.0時代の到来を見据えた新しい取組を進めてまいります。具体的には、協働的な授業や個に応じた指導の実施のほか、コロナ禍で必要性が改めて認識されたオンライン授業の配信に対応できるよう準備をしました。あわせて、遠隔地の外部講師の授業の導入、他校との意見交換の場の設定など、多様な授業スタイルを創造してまいります。

また、育成室の利用ニーズの高まりに迅速かつ適切に対応するため、学校施設や公有地等を活用したこれまでの整備手法に加え、民間事業者からの提案を募り、保育ニーズの高い地域において、スピード感を持って育成室の整備を進めます。

さらに、区立図書館では、読書バリアフリーや新型コロナウイルス感染症対策などに加え、新しい生活様式のなかで変化する区民ニーズにも適切に対応するため、非来館型のサービスとして電子書籍やオーディオブックを導入しました。

次代を担う子どもたちが、安全で安心して過ごせる学校づくりはもちろんのこと、子ども一人ひとりが心身ともに健やかで、人間性豊かに逞しく生きる力を身に付けられるよう、今後とも全力で取り組んでまいります。

この「令和3年版教育概要」は、主として令和2年度の教育施策の実績と3年度の新たな取組をまとめたものです。この冊子をご一読いただき、引き続き教育行政へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年9月

文京区教育委員会

教育長 加藤 裕一